

## 平成22年4月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年12月8日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 共和工業所

コード番号 5971 URL <http://www.kyowakogyosyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 徹

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 笠本 廣業

TEL 0761-21-0531

四半期報告書提出予定日 平成21年12月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年4月期第2四半期の業績(平成21年5月1日～平成21年10月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年4月期第2四半期	2,351	△60.7	△231	—	△135	—	△59	—
21年4月期第2四半期	5,988	—	894	—	911	—	537	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年4月期第2四半期	△8.74	—
21年4月期第2四半期	79.14	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年4月期第2四半期	9,027	6,696	74.2	985.66
21年4月期	9,051	6,744	74.5	992.70

(参考) 自己資本 22年4月期第2四半期 6,696百万円 21年4月期 6,744百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年4月期	—	0.00	—	15.00	15.00
22年4月期	—	0.00	—	—	—
22年4月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年4月期の業績予想(平成21年5月1日～平成22年4月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,550	△36.2	△150	—	△14	—	8	△97.4	1.18

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年4月期第2四半期 6,800,000株 21年4月期 6,800,000株

② 期末自己株式数 22年4月期第2四半期 6,187株 21年4月期 6,187株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年4月期第2四半期 6,793,813株 21年4月期第2四半期 6,793,813株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年9月10日に公表いたしました業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的で判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国経済は、昨年からの世界的な金融危機の影響により急速に悪化した景気は一部に景気の底入れの兆しが見えるものの、企業収益や雇用情勢において厳しい状況が続いております。また、海外におきましても主要各国による経済対策と景気刺激策の効果により、中国などの一部の国は回復の傾向を示し始めましたが、北米・欧州などでは引続き厳しい状況が続いております。その中で当第2四半期累計期間の当社の業績は、主力である建設機械向け製品の需要が、建設機械メーカーの在庫調整の影響もあり前年同期を大幅に下回りました。また、自動車用鍛造部品におきましても、自動車業界の回復基調はありましたが前年同期を下回りました。

当第2四半期累計期間は、売上高は23億51百万円（前年同期比60.7%減、36億37百万円減）、営業損失2億31百万円（前年同期は営業利益8億94百万円）、経常損失1億35百万円（前年同期は経常利益9億11百万円）、四半期純損失59百万円（前年同期は四半期純利益5億37百万円）となりました。

主要な部門別の概況は以下のとおりであります。

#### 「建設機械部門」

建設機械部門の売上高は、国内売上13億92百万円（前年同期比68.2%減、29億92百万円減）、海外売上3億53百万円（前年同期比35.3%減、1億93百万円減）となりました。

当社の主力である建設機械向け製品は、世界的な不況により国内及び海外向けにおきましても受注が減少し前年同期を下回りました。

当部門は、景気刺激策の効果が出てきている中国及びインドネシアなどの新興国において回復の兆しが出てきましたが、その他の地域では先行き不透明感が続いております。

#### 「自動車関連部門」

自動車関連部門の売上高は、4億39百万円（前年同期比28.0%減、1億71百万円減）となりました。

自動車業界は徐々に回復基調が見受けられ期待しております。

#### 「産業機械部門」

産業機械部門の売上高は、41百万円（前年同期比82.6%減、1億99百万円減）となりました。当部門も製造業の設備投資の抑制により、内外需要の減少が影響しております。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期累計期間末の財政状態は、総資産は90億27百万円となり前事業年度末と比して23百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は44億11百万円となり、現金及び預金が前事業年度末に比して1億円増加、受取手形及び売掛金が前事業年度末に比して1億73百万円増加したことにより、前事業年度末と比して1億16百万円増加しました。固定資産は46億15百万円となり、有形固定資産が36億66百万円となり前事業年度末と比して2億35百万円減少、投資その他の資産は9億41百万円となり前事業年度末と比して95百万円増加したことにより、前事業年度末と比して1億40百万円減少しました。

負債の部では、流動負債は15億63百万円となり、支払手形及び買掛金が前事業年度末と比して2億48百万円増加、未払金が前事業年度末と比して65百万円増加、設備関係支払手形が前事業年度末と比して2億76百万円減少したことにより、前事業年度末と比して65百万円増加しました。

純資産の部は、別途積立金の増加、繰越利益剰余金の減少により、66億96百万円となり、前事業年度末と比して47百万円減少しました。

以上により自己資本比率は74.2%となり0.3ポイント減少しました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の四半期末残高は9億35百万円となり、前事業年度末と比して50百万円増加しました。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

税引前四半期純損失1億10百万円、売上債権の増加1億76百万円を計上しました。一方で減価償却費3億28百万円、仕入債務の増加2億48百万円、法人税等の還付金1億61百万円等を計上したことを主な要因として、営業活動により得られた資金は6億44百万円となりました（前年同期比1億95百万円増）。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得に4億1百万円充当したことから、投資活動により4億8百万円の資金を要しました（前年同期比6億44百万円の支出減）。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払に1億1百万円、長期借入金の返済に83百万円の資金を充当したことから、財務活動により1億85百万円の資金を要しました（前年同期比84百万円の支出増）。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期における業績の進捗並びに今後の受注動向を勘案し、業績予想の見直しを行なった結果、平成21年9月10日に発表しました平成22年4月期の通期の業績予想を修正しております。詳細は、本日別途開示いたします「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 簡便な会計処理

##### ① たな卸資産の評価方法

たな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

##### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### 表示方法の変更

##### （四半期貸借対照表関係）

前第2四半期会計期間において、固定資産の有形固定資産「その他（純額）」に含めて表示しておりました「建物（純額）」は、資産総額の100分の10を超えたため、当第2四半期会計期間では区分掲記することとしました。なお、前第2四半期会計期間の固定資産の有形固定資産「その他（純額）」に含まれる「建物（純額）」は787,655千円であります。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年10月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,015,233	1,914,315
受取手形及び売掛金	1,541,324	1,367,885
有価証券	258,335	207,067
商品及び製品	207,272	186,461
仕掛品	100,302	86,052
原材料及び貯蔵品	112,702	137,193
その他	176,743	396,266
流動資産合計	4,411,914	4,295,242
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	915,149	944,963
機械及び装置（純額）	1,852,333	1,957,352
その他（純額）	899,065	1,000,003
有形固定資産合計	3,666,548	3,902,319
無形固定資産		
投資その他の資産	8,167	7,951
投資有価証券	781,691	637,473
その他	183,248	229,212
貸倒引当金	△23,752	△20,892
投資その他の資産合計	941,187	845,794
固定資産合計	4,615,903	4,756,065
資産合計	9,027,817	9,051,307
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	832,815	584,580
未払法人税等	3,503	—
賞与引当金	125,822	124,041
その他	601,628	789,865
流動負債合計	1,563,770	1,498,486
固定負債		
長期借入金	250,770	333,920
退職給付引当金	158,380	169,467
役員退職慰労引当金	225,475	249,197
その他	132,998	56,017
固定負債合計	767,624	808,602
負債合計	2,331,395	2,307,089

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年10月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	592,000	592,000
資本剰余金	464,241	464,241
利益剰余金	5,404,582	5,565,841
自己株式	△5,332	△5,332
株主資本合計	6,455,491	6,616,750
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	240,930	127,467
評価・換算差額等合計	240,930	127,467
純資産合計	6,696,422	6,744,218
負債純資産合計	9,027,817	9,051,307

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年10月31日)
売上高	5,988,709	2,351,186
売上原価	4,545,767	2,261,359
売上総利益	1,442,941	89,827
販売費及び一般管理費	548,110	321,017
営業利益又は営業損失(△)	894,831	△231,190
営業外収益		
受取利息	6,044	4,091
受取配当金	7,799	6,828
助成金収入	—	69,776
その他	2,782	17,774
営業外収益合計	16,627	98,470
営業外費用		
支払利息	—	2,864
営業外費用合計	—	2,864
経常利益又は経常損失(△)	911,458	△135,585
特別利益		
貸倒引当金戻入額	334	—
役員退職慰労引当金戻入額	—	27,359
補助金収入	—	70,900
特別利益合計	334	98,259
特別損失		
固定資産除却損	3,871	2,121
固定資産圧縮損	—	70,841
特別損失合計	3,871	72,963
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	907,921	△110,288
法人税、住民税及び事業税	384,765	1,158
法人税等調整額	△14,474	△52,095
法人税等合計	370,290	△50,936
四半期純利益又は四半期純損失(△)	537,631	△59,351

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自 平成20年8月1日 至 平成20年10月31日)	当第2四半期会計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日)
売上高	3,020,846	1,326,629
売上原価	2,342,344	1,216,053
売上総利益	678,501	110,575
販売費及び一般管理費	278,132	167,123
営業利益又は営業損失(△)	400,369	△56,547
営業外収益		
受取利息	3,662	1,722
助成金収入	—	29,934
その他	720	5,746
営業外収益合計	4,382	37,402
営業外費用		
支払利息	—	1,359
営業外費用合計	—	1,359
経常利益又は経常損失(△)	404,751	△20,504
特別利益		
補助金収入	—	7,100
特別利益合計	—	7,100
特別損失		
固定資産除却損	3,752	2,070
固定資産圧縮損	—	7,041
特別損失合計	3,752	9,112
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	400,999	△22,516
法人税、住民税及び事業税	244,744	579
法人税等調整額	△80,695	△5,676
法人税等合計	164,049	△5,096
四半期純利益又は四半期純損失(△)	236,949	△17,419



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	907,921	△110,288
減価償却費	205,357	328,386
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,960	1,781
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△334	2,860
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,821	△11,086
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	26,989	△23,721
受取利息及び受取配当金	△13,844	△10,919
支払利息	—	2,864
固定資産除却損	3,871	2,121
固定資産圧縮損	—	70,841
補助金収入	—	△70,900
売上債権の増減額 (△は増加)	△434,534	△176,298
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△30,525	△10,569
仕入債務の増減額 (△は減少)	255,550	248,235
その他	△3,807	161,463
小計	922,781	404,769
利息及び配当金の受取額	14,533	11,663
利息の支払額	—	△2,352
補助金の受取額	—	70,900
法人税等の還付額	—	161,205
法人税等の支払額	△487,529	△1,202
営業活動によるキャッシュ・フロー	449,785	644,982
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,030,000	△1,030,000
定期預金の払戻による収入	1,030,000	1,030,000
有形固定資産の取得による支出	△1,045,725	△401,352
無形固定資産の取得による支出	—	△1,199
投資有価証券の取得による支出	△5,723	△5,193
その他	△2,292	△1,175
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,053,740	△408,920
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△83,150
配当金の支払額	△100,999	△101,993
財務活動によるキャッシュ・フロー	△100,999	△185,143
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△704,954	50,918
現金及び現金同等物の期首残高	1,533,076	884,315
現金及び現金同等物の四半期末残高	828,122	935,233

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 6. その他の情報

### 販売実績

当第2四半期会計期間の販売実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

部 門	当第2四半期会計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)	前年同四半期比 (%)
建設機械 (千円)	1,015,730	40.6
自動車関連 (千円)	223,521	75.6
産業機械 (千円)	21,340	15.1
その他 (千円)	66,036	78.8
合計 (千円)	1,326,629	43.9

- (注) 1. 金額は販売価格によります。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. 前第2四半期会計期間及び当第2四半期会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期会計期間 (自平成20年8月1日 至平成20年10月31日)		当第2四半期会計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
ファスナーテック貿易(株)	—	—	235,244	17.7
(株)小松製作所	573,970	19.0	203,388	15.3
三遠機材(株)	—	—	141,631	10.7
コベルコ建機(株)	—	—	133,065	10.0
コマツ物流(株)	492,415	16.3	125,704	9.5

- (注) 前第2四半期会計期間のファスナーテック貿易(株)、三遠機材(株)及びコベルコ建機(株)への販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合については、当該割合が100分の10未満となっているため記載を省略しております。

4. 前第2四半期会計期間及び当第2四半期会計期間における主な輸出先及び輸出版売高及び割合は次のとおりであります。

( ) 内は総販売実績に対する輸出版売高の割合であります。

輸出先	前第2四半期会計期間 (自平成20年8月1日 至平成20年10月31日)		当第2四半期会計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
北米	—	—	22,182	8.6
アジア	—	—	226,696	87.5
欧州	—	—	10,233	3.9
合計	— (—%)	—	259,112 (19.5%)	100.0

(注) 前第2四半期会計期間は総販売実績に対する輸出版売高の割合が100分の10未満であるため記載をしておりません。

以上